

授業科目名	授業形態	単位数	担当教員名
保育内容総論	演習	1 単位	園田 雪恵・中重 直俊

記載不要

【授業のテーマ及び到達目標】

幼児期において育むべき資質や能力について理解する。また、幼稚園教育要領および幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針における5領域のねらい及び内容を、これまで身に付けてきた専門領域の知識と関連させながら理解を深める。子どもの発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて、具体的な保育場面を想定し構想する方法を身に付ける。

1. 幼児教育の基礎および5領域のねらい及び内容について説明することができる。
 - 1) 5領域のねらい及び内容並びに構成を説明することができる。
 - 2) 領域のねらい及び内容を踏まえ子どもが経験し身に付けていく内容と指導上の留意点を説明することができる。
 - 3) 幼児教育における評価の考え方を説明することができる。
 - 4) 領域ごとに幼児が経験し身に付けていく内容の関連性や小学校教育とのつながりを説明することができる。
2. 子どもの発達や学びの過程を理解し、具体的な保育場면을シミュレーションしながら、保育を構想する方法を身に付けることができる。
 - 1) 子どもの認知・思考、動性を視野に入れた保育の構想の重要性について説明することができる。
 - 2) 各領域の特質や子どもの体験との関連を考慮した情報機器及び教材の活用法を理解し、保育の構想に活用することができる。
 - 3) 指導案の構成を理解し、子どもの姿に寄り添った指導案を作成することができる。
 - 4) 模擬保育とその反省をいかし、保育を改善する視点を身に付けることができる。
 - 5) 各領域の特質に応じた保育実践の動向を知り、保育構想の向上に取り組むことができる。

【授業の概要】

幼稚園教育要領および幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針における乳幼児教育について解説する。保育における5領域のねらい及び内容を詳説し、指導案の作成方法や、情報機器の操作方法の解説をする。受講者は、これまでの保育に関する学習内容を踏まえつつ、乳幼児に関する事例から自分なりの考察を行なう。その中で、子どもの主体性を支える保育者としての役割を学ぶ。中盤以降は、各領域における指導案を作成する。ここでは、アプリや情報機器を活用した指導法についても検討する。

【全体の授業計画・内容】

1. オリエンテーション ―保育の一日の流れ―

事前学修課題: 保育にかかわる情報収集をしておく。【0.5 時間】

事後学修課題: 配布された資料から保育の流れを理解する。【0.5 時間】

2. 幼稚園教育要領および幼保連携型認定こども園教育・保育要領・保育所保育指針のねらいと内容

事前学修課題: 乳幼児教育における3つの要領や指針の5領域のねらいと内容を読んでおく。【0.5 時間】

事後学修課題: 乳幼児教育における3つの要領や指針の5領域のねらいと内容をまとめる。【0.5 時間】

3. 幼稚園・認定こども園の法規

事前学修課題: 乳幼児教育における3つの要領や指針の総則を読んでおく。【0.5 時間】

事後学修課題:乳幼児教育における3つの要領や指針の法規をまとめる。【0.5時間】
4. 教育思想から保育を考える 事前学修課題:事前に配布した教育者の資料を読んでおく。【0.5時間】 事後学修課題:各教育者の思想をまとめる。【0.5時間】
5. 基本的生活習慣と幼児期の道徳性 事前学修課題:事前に配布した保育の資料を読んでおく。【0.5時間】 事後学修課題:子どもの生活習慣の育成や道徳性の育ちについての事例をまとめる。【0.5時間】
6. 遊びの中の保育内容5領域 事前学修課題:事前に配布した資料を読んでおく。【0.5時間】 事後学修課題:子どもの遊びの事例からどのような育ちがあったか5領域ごとにまとめる。【0.5時間】
7. 子どもの発達と保育ー発達段階に応じた指導案の作成方法ー 事前学修課題:指導案の書き方を予習しておく。【0.5時間】 事後学修課題:指定した子どもの遊びの指導案を完成させる。【0.5時間】
8. 子どもの「健康」ー給食における食育指導の指導案作成ー 事前学修課題:事前に配布した食育の資料を読んでおく。【0.5時間】 事後学修課題:子どもの食育についてまとめる。【0.5時間】
9. 子どもの「人間関係」ーごっこ遊びの指導案作成ー 事前学修課題:事前に配布した子どものごっこ遊びについての資料を読んでおく。【0.5時間】 事後学修課題:それぞれのごっこ遊びにおける子どもの学びを考察する。【0.5時間】
10. 「環境」による保育ー保育室と園庭の環境構成の検討ー 事前学修課題:実習日誌の環境構成を読み返しておく。【0.5時間】 事後学修課題:保育における環境構成についてまとめる。【0.5時間】
11. 子どもの「言葉」ーアプリを活用した言葉遊びの指導と指導案の作成ー 事前学修課題:事前に渡したアプリの使い方の資料を読んでおく。言葉遊びの展開を考えておく。【0.5時間】 事後学修課題:アプリを用いた言葉遊びの指導案を完成させる。【0.5時間】
12. 子どもの「表現」ーアプリを活用した表現遊びの指導と指導案の作成ー 事前学修課題:表現遊びの展開を考えておく。【0.5時間】 事後学修課題:アプリを用いた表現遊びの指導案を完成させる。【0.5時間】
13. 保育の評価 事前学修課題:実習日誌の反省と評価を読み返しておく。【0.5時間】 事後学修課題:事例における保育の評価についてまとめる。【0.5時間】
14. 幼児教育と小学校教育における連続性 事前学修課題:幼児教育と小学校教育の接続期にどのような課題があるのか情報収集しておく。【0.5時間】 事後学修課題:幼児教育と小学校教育における子どもの育ちと学びについてまとめる。【0.5時間】
15. 試験およびまとめ 事前学修課題:これまでの授業で学んだことをまとめる。【0.5時間】 事後学修課題:保育内容総論における課題の確認を行う。【0.5時間】
【学習のあり方】 現在子どもが抱えている問題に関心を持つようにする。授業中に配布されたプリントや資料の重要なポイントは保育者の基礎知識として覚える。授業での学習内容を保育者としての基礎知識と捉え、どのように実践にいかしていくのか検討する。

【成績評価】

平常試験(50%)、ワークと指導案(50%)により総合的に判断する。

【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】

授業で配布するコメントシートに授業に対する疑問点や質問を記入し、次回の授業にて解説することによりフィードバックを行う。

【テキスト】

適宜プリント及び資料を配布する。

【参考文献】

文部科学省『幼稚園教育要領』フレーベル館

内閣府『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』フレーベル館

厚生労働省『保育所保育指針』フレーベル館

【実務経験の有無】

幼稚園における保育者としての経験をいかし、保育における 5 領域の総合的な指導法を教示する。また、小学校教諭としての経験から、幼児期の終わりまでに育ってほしい 10 の姿を基に、幼小接続期の子どもの育ちと学びについての講義を行う。